

厚生労働科学研究補助金（労働安全衛生総合研究事業）
（総括・分担）研究報告書

教材および英語講義法に関する指導と大学調査に関する研究

研究分担者 R・C Vergin 愛媛大学国際連携推進機構教授

研究要旨

ミャンマーの大学で日本式の安全講習会を開催するため作成したオリジナルの教材で用いられている英文校閲および英語講義法の指導を行うとともに、大学調査に同行し調査を行った。

A. 研究目的

1. 日本式安全衛生教育をミャンマーの大学に提供するために作成した教材の英文校閲を行い、教材を作成する。
2. 本プロジェクト参加者へ、英語による講義法を指導すること。

D. 結論

研究分担者から提出された教材の原案を基に、英文校閲および体裁の調整を行い、2019年度試行用教材を完成させた。さらに、英語による講義法についての訓練を行った。

B. 研究方法

研究分担者により作成された教材を作成した研究分担者とともに内容を確認しながら英語の校閲を行った。さらに、教材全体の文体や表現方法の統一をおこない、英文の教材を編集した。

この教材をもちいて、英語による講義に不慣れな研究分担者へ、英語を用いた講義の方法や技能を指導し、ミャンマーで十分な講義ができるよう訓練した。

ラオス国立大学、タイのチュラロンコン大学 及びマヒドン大学と調査に関する連絡調整を行った。

E. 研究発表

1. 論文発表 : なし
2. 学会発表 :

1. A trial of an occupational safety and health syllabus for technological universities in Myanmar, T. Tanaka, K. T. Lwin, K. Ito, S. Okano, R. Vergin, M. Kawakami and T. Miyazaki, ACSEL2019 (Bali), 2019/11.

2. 留学生に対する安全衛生教育について、ルース バージン, 令和元年度中国・四国地区国立大法人等労働安全衛生協議会, 2019年10月24日

C. 研究結果

2019年度に使用する試行用の教育教材の英語を校閲し必要な修正を行なうとともに、文体や体裁の調整を行い、完成させた。

ミャンマーの大学での講義担当者へ、英語による講義法を訓練し、作成した英語教材を用いて講義ができるようになった。

ミャンマー大学の安全衛生担当と教科書の様式と教育法（Flipped classroom形式）を話し合った。

研究代表と同じ

F. 知的財産権の出願・登録状況
(予定を含む。)

1. 特許取得 : なし
2. 実用新案登録 : なし
3. その他 : なし